

DETAIL GRAM

ディテールグラム



DG0002 Col.BR

柔らかなポストン型は女性にも最適。ブリッジ周りの立体感に大人の上質がただよ。価格4万9680円



DG0004 Col.GR

細身で流麗なラインのプラスチックは、削り出し丁番のフィット感の良さで疲れ知らず。価格4万7520円



DG0003 Col.DB

ソリッドな印象のスクエアは、ブリッジや削り出し一箇智のパーツが映えるデザイン。価格4万9680円



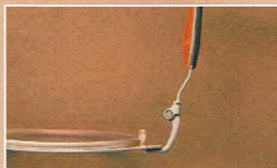
チタン板にリムを重ねた独自の構造は、レンズに厚みが出て目立ちにくく、横顔をシャープに見せる。

DG0001 Col.BK

知的な表情を演出するメタルブロー。テンプル内側にデミカラーを配したマットな黒。価格5万1840円



DG0002



削り出しのβチタン丁番はゆるやかな段差を作り、顔の大小を問わず最適なフィット感が得られるように。



ブリッジは立体感のある成型。陰影によってチタンのマットな輝きが引き出され、高級感を放っている。

真の上質はディテールに宿る

オールチタンパーツの純日本製。パットの芯に至るまでチタン材にこだわり、大人が本当に求める上質と機能性、そして日常づかいにおける「自分らしさ」を追求した「ディテールグラム」のフレーム。こだわり抜いた細部パーツの美しさに息をのむ。

Photo / 青木健格 Aoki Takenori (WPP) Text / 小堀真子 Kobori Mako

過剰な価格競争やいたずらな個性ではなく、本物の高品質と機能、上質なデザインを。鯖江の職人技が、メイド・イン・ジャパンの志ある新ブランドをまた生んだ。その名は「ディテールグラム」。最大の特徴は、純チタンとβチタンによるハイブリットな構造だ。フロント板から鼻パッドの芯に至るまでオールチタン。なかでもユニークなのは、フロントをチタン板とリムを重ねる手の込んだ構造にすることで、ステンレスでは再現できない豊富な色や高強度を可能にしている点だろう。ほどよくトレンドを取り込みつつも落ち着いた佇まいの秘訣は、削り出しの一個智やブリッジといったチタンパーツの美しさ。また、長時間装用に耐えるしなやかなβチタンテンブルの先には、6ミリ厚の長いモダンを採用する。これにより最適な重心バランスが得られ、ナマシ(焼き入れ)処理によるフィッティングのしやすさも上々だ。いずれも遠近両用に対応できる天地幅広めの玉型。長い付き合いを予感させる1本が、ここにある。

MODE OPTIQUE 2018

EDITOR'S
PICK UP
BRAND